

能登半島地震からの気づきを踏まえて、ハード・ソフトの両面から南海トラフ地震対策等の強化に向けた取組を推進しています。

直接被害を防ぐために

住宅耐震化の推進

地震時の建物倒壊を防ぐため、昭和56年以前に着工された木造住宅の耐震改修の促進に取り組みます。



能登半島地震における住宅倒壊

■耐震補強工事の補助限度額の引き上げ (イメージ) 工事費320万円の場合

拡充前	最大100万円	拡充後	最大157.5万円
自己負担 220万円	国 50万円 県 25万円 市町 25万円	自己負担 162.5万円	国 57.5万円 県 50万円 市町 50万円
	100万円		157.5万円

■耐震補強工事費の低減

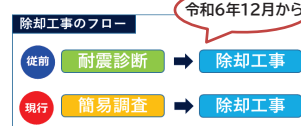
耐震補強工事費の低減を図るため、精密診断法による補強設計や低コスト工法の講習会を開催しています。



R6年度精密診断法講習会の様子

■耐震性のない空き家の除却の促進

耐震性のない空き家の除却の補助申請が、簡易な調査で可能となりました。



耐震対策 (各分野のページに記載)



災害時の公衆衛生対策

断水時にも使用できるマンホールトイレやかまどベンチ・防災井戸等を整備します。



県庁前公園(津市)におけるマンホールトイレ等の整備

迅速な救助・救急活動のために

道路啓開の迅速化

■道路啓開計画の見直し

沿岸部だけでなく山間部の孤立集落対策も含めた道路啓開計画の見直しを進めています。



■災害応急資材の確保

緊急輸送道路の速やかな応急復旧のため、災害応急資材の確保に取り組んでいます。



出典：土木学会調査報告書

■砕石工業組合と協定を締結



■段差部保護樹脂敷板の備蓄



出典：土木学会調査報告書

■大規模災害を想定した各種訓練の実施

道路啓開訓練、応急仮設住宅建設シミュレーション訓練、浸水被害を想定した排水ポンプ車操作訓練等、現場における実動訓練を重ね、職員一人ひとりの災害に対する意識や災害対応力の向上に取り組んでいます。



津波被害を想定した道路啓開訓練



浸水被害を想定した排水ポンプ車操作訓練

道路ネットワークの強化

救助・救急活動や人員・物資輸送等を迅速に行うため、災害に強い高規格道路等の整備を促進します。

半島地形である三重県南部の沿岸エリア



①矢口浦止里線



令和6年11月9日供用開始

②国道311号(賀田)



令和6年7月9日供用開始

③新宮紀宝道路



令和6年12月7日供用開始

④熊野道路



⑤伊勢志摩連絡道路(磯部BP)



令和7年3月23日供用開始

⑥国道260号船越BP



令和8年度供用予定

⑦国道260号東宮河内



避難路沿道建築物の耐震化促進

さらなる耐震化を図るため、工事費にかかる補助割合の見直しを行い、市町補助にあわせて耐震化への支援を拡充しました。

耐震診断	公費負担100%
国 1/2	県 1/4 市町 1/4
国補助金 1/2	地方補助金 1/2
補強設計	公費負担83.3%
国 1/2	県 1/6 市町 1/6 事業者 1/6
国補助金 1/2	地方補助金 1/3
耐震改修	公費負担44.0%
国 6/25	県 1/10 市町 1/10 事業者 14/25
国補助金 6/25	地方補助金 1/5

拡充

耐震診断	公費負担100%
国 1/2	県 1/4 市町 1/4
国補助金 1/2	地方補助金 1/2
補強設計	変更なし
国 1/2	県 1/6 市町 1/6 事業者 1/6
国補助金 1/2	地方補助金 1/3
令和7年度～耐震改修	公費負担73.3%※1
国 2/5	県 1/6 ※2 市町 1/6 事業者 4/15
国補助金 2/5	地方補助金 1/3

資材等の高騰を踏まえた補助限度額の見直し

	従前	見直し後
住宅	34,100円/㎡	39,900円/㎡
マンション	50,200円/㎡	51,700円/㎡
建築物	51,200円/㎡	57,000円/㎡

※1 公費負担割合にあつては市町の補助する額(限度額あり)により変動します。
※2 国・県は市町への間接補助

市街地内の緊急輸送道路における無電柱化対策

電柱倒壊リスクに備え、影響の大きい市街地内の緊急輸送道路における無電柱化に取り組みます。



都市計画道路外宮常磐線 (伊勢市)

放置船対策

関係機関と連携して放置船の撤去、所有者への撤去指導等を実施することにより、災害時の海上輸送の確実な確保を推進します。



護岸へ乗り上げた放置船

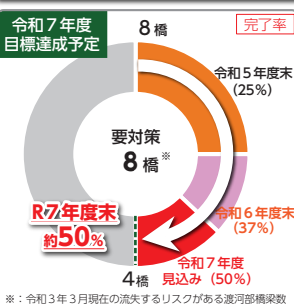
三重県独自の5年後の達成目標と整備事例

「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」が令和3年度からスタートしました。三重県では県独自の「5年後の達成目標」を策定し、県土整備部が管理する道路、河川等の施設への主な対策(18 対策)及び対策完了時期<試算>を明記しています。引き続き、県民のご理解とご協力を得ながら、災害に負けない強靱な県土づくりを加速します。

(目標例)

県土整備部における国土強靱化の取組詳細 https://www.pref.mie.lg.jp/KEIMACHI/HP/000125281_00002.htm

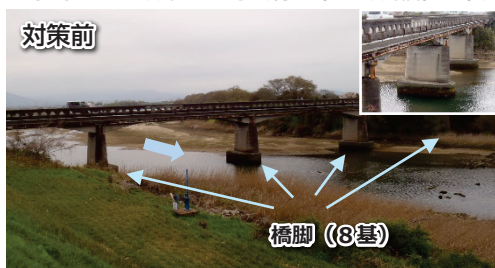
渡河部橋梁の流失防止対策
(緊急輸送道路)



道路 渡河部橋梁の架け替えにより橋梁流失を防止

一般県道香良洲公園島貫線 (香良洲橋) (津市)

5か年加速化対策



対策前

橋脚 (8基)



対策後

橋脚 (2基)